

日米安保と 東アジアの 平和を問う



10月16日(土) 13:30~ 17:00
社会文化会館ホール

東京都千代田区永田町1-8-1

東京メトロ「永田町駅」(有楽町線・半蔵門線)5分

東京メトロ「国会議事堂前駅」(丸の内線・千代田線)10分

李 鍾元さん(立教大学教授)「日米安保と東アジア」

前泊博盛さん(琉球新報社)「日米安保と基地被害」

斉藤つよしさん(衆議院議員・民主党)

藤本泰成 (平和フォーラム事務局長)

嘉手納や普天間では昼夜を問わぬ戦闘機の爆音、横須賀には原子力空母、そして絶えることのない米兵犯罪。敗戦から65年、サンフランシスコ講和条約から59年を経てなお、日本に駐留する50,000人の米軍兵士。昨年8月に誕生した鳩山内閣は、普天間基地の辺野古移設をはじめとした米軍再編の見直し、日米地位協定の改定、対等な日米関係を打ち出しましたが、わずか9ヶ月で退陣に追い込まれてしまいました。米軍に脅かされることのない平和な日本を築くために、東アジア諸国との本当の友好関係を作るために、私たちは何をしなければならないのでしょうか。日本を縛りつける日米安保という「頸木(くびき)」を断ち切る方策を考えます。ぜひ参加してください。

主催 フォーラム平和・人権・環境(平和フォーラム)

電話03(5289)8222/FAX03(5289)8223